

聴くことの大切さ

先週の月曜日には東部総体の報告会を行いました。前回の学年通信でも書きましたが、今回の報告会は単に結果を報告するのではなく、東部総体を通して何を感じたか、また仲間のがんばりをみて何を思ったかを語り合う場でした。大会が終わったばかりだったからなかなか言葉がみつからず、語ってくれる生徒は多くはなかったですが、その後の振り返りにはそれぞれ素直な気持ちを綴ってくれていたようです。

聴くことで問われる自分

学年全体で1つのテーマについて語り合う時間をもったのは、今回で2回目です。大勢の前で自分の思いや意見を語るのはとても勇気のいることですし、難しいことだと思います。先日の集会でも沈黙の時間がありながらも、勇気を出して手を挙げる場面が何度もありました。その時には多くの生徒がずっとその生徒の方に顔を向けて一生懸命聴こうとする姿がありました。

私は大勢の前で語ることと同時に、相手の言葉をしっかり「聴く」ことも大切なことだと思っています。緊張しながらも一生懸命伝えようとする言葉、その言葉にどんな思いが乗せられ、その人はどんな事を考えながら伝えようとしているのか。私達は相手のことを100%理解することはできません。だからこそ、懸命にその人を理解しようとする事で、人は人とつながることができるのです。相手に言葉に耳を傾ける、声にならない声を受け止めようとする。聴くことは受け身な営みではなく、自分発信の営みなのです。

今の学級に「語る一聴く」の関係は生まれていますか？自分の事ばかりしゃべって相手のことを分かろうとしない雰囲気はありませんか？

私はもうしばらく学年集会で、今回のような語り合いの時間を取りたいと思います。それはみなさんの精一杯の言葉を私自身が「聴く」ことで、私も自分自身を問い続けていたいからです。

今週の予定

6月13日(火)	新研究【社会】	東部陸上 がんばれ！
6月14日(水)	新研究【数学】	
6月15日(木)	新研究【理科】	専門委員会
6月16日(金)	テスト期間です。	教育実習最終日、進路希望調査配布
6月19日(月)		

【連絡】

成績表を今週中に担任まで返却してください。